

サマープログラム 体験談

経済学部リーガルエコノミクス学科 梶井 星



1. 現地での生活全般について

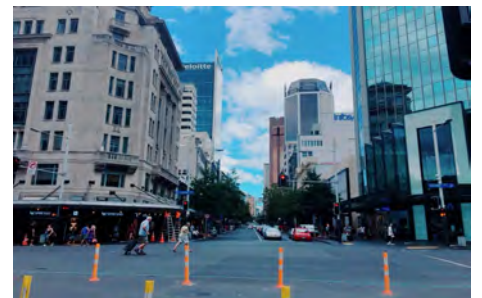
朝ご飯は自分で作って食べ、夜ご飯はホストファミリーに作ってもらっていた。朝ご飯は基本的に食パンかシリアルだったが、これだけだと昼までもたないのでフルーツを買ってきてもらっていた。午後6時に夕食で、8時か9時には部屋に戻って一人の時間を過ごしていた。ホストマザーは平日は仕事で、帰宅後夕ご飯を作ってからサッカークラブに行っていた。息子は高校を卒業していて、1年間はフリーでその後、大学に行くらしく自由だった。私は帰りの時間が遅れたり、夕食の時間に間に合わないときは、ホストマザーに事前に連絡していた。



2. プログラム全体に対する感想、反省

初めての留学で最初は不安の気持ちしか無かった。ホストファミリーとどう接して良いか特に不安だったが、実際に生活してみると、親子それぞれ個として行動しているようだったので、私自身も無理せずに生活していけばいいのだと分かった。

クラスは男性は私だけで他はみんな女性だったので驚いた。慣れない環境ではあったが徐々に慣れていくことができたので良かった。授業ばかりでなく、ニュージーランドの文化や自然を知ることができるカリキュラムが組まれていたので、よりニュージーランドを知ることができたと思う。現地の先生たちもフレンドリーでとても接しやすかった。また、授業時間も短く午後から時間があつたので観光などができて良かった。



3. ニュージーランドに持参した現金の金額とカードで使用した金額はどれくらい？

私は日本で 300 ドルに両替して持って行ったが、日本での両替はレートが悪く現地で両替した方が良かったため、現地の空港で両替している人もいた。また、100 ドル札は持たずに 10 ドル、20 ドルなど小分けにして持ったほうが良い。持ち歩く金額も少なめにして、クレジットカードで支払えば問題ない。しかし、時々だがクレジットカードが使えないところもある。利用した金額は現金 300 ドル(約 2 万 5 千円)、クレジットカード約 6 万円。大学が家から近く通学のための交通費は全くかからなかった。

